

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ヒート	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ヒート

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

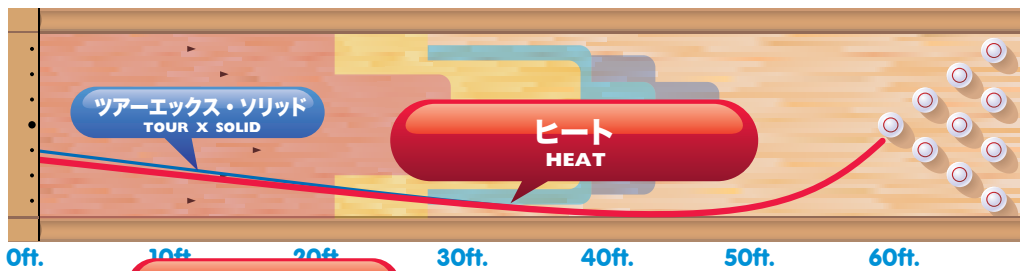
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ツアーエックス・ソリッド

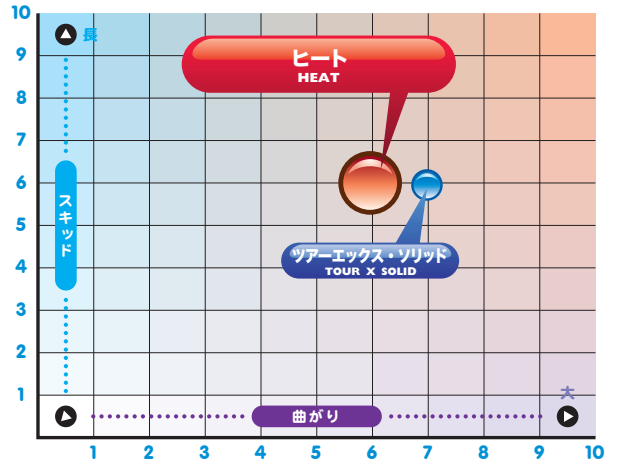
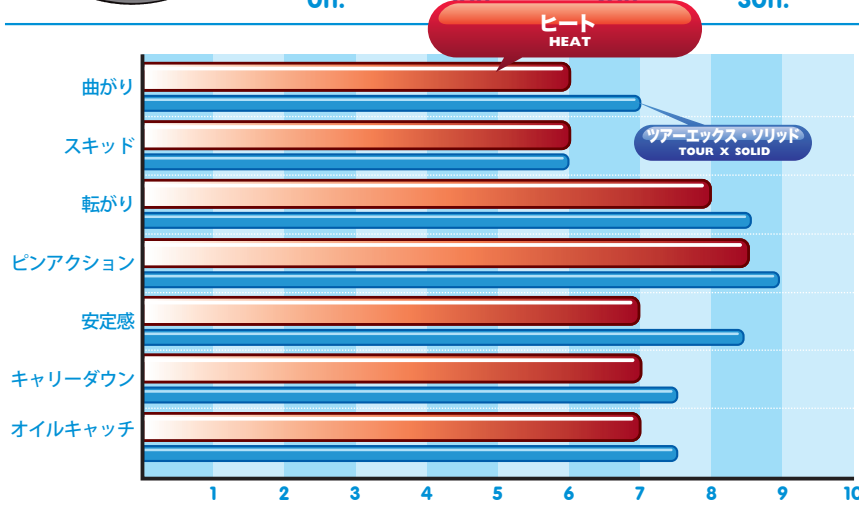
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

TRACK社のHEATと聞けば、当時キャッチ系BLUE HEATから走り系DESERT HEATまで数多くシリーズとして発売されましたが、ビギナーからTop playerまで幅広いプレイヤーに愛され使用されたボールがオリジナルのHEATという印象があります。それはTri-Coreがシンプルな作りであってもコントロールしやすいしっかりとしたmotion potentialがでるCoreだったからこそであり、幅広いCoverstockにも相性が良かったのだと思います。それは現代のCover Stock Technologyとドリルレイアウトに置き換えても同様であり、レイアウトのしやすさとそれに伴う良いパフォーマンスは驚くほどです。今回発売するHEATはただの復刻版ではなく、Coverstockとの相性でModifiedされたTri-Coreとミディアムから以下をカバーできるように走り系のCoverstockでもドライゾーンでの反応が良いPearl Reactiveを採用しています。

投球してみると、「非常にバランスが良い」というのが第一印象で、Mid Laneから柔らかに動きはじめ、ピンの手前でフリップ感のあるReactionは「当時のHEATそのもの」だと思いました。現代のCoverstockに置き換えてはありますが、思った以上にオイルに対しての弱さを感じられないほどパワーバランスが良いというか、一連の流れで良いパフォーマンスであることを感じて頂けると思います。なんとと言ってもレイアウトを難しく考えなくてもしっかりとパフォーマンスが出るのがSymmetric Coreの良いところでしょう。やや強めにレイアウトしてMidの安定感をさらに高めるのもよし。抑えたレイアウトでシャープ感を高めても良いでしょう。様々なシーンで使える利便性の高いボールです。

特記事項

ビギナーからトップレベルまで多くの方に愛用されたHEATが現代のCover Stockで復活です。バランスの取れたスキッドと曲りは、高いコントロール性を発揮します。